

Shuei Walker in 全国総文祭 信州総文2018

今回、茨城県代表として8月9日(木)～8月11日(土)に行われた「信州総文2018」に参加しました。また、長野県の名所の取材も行いました。全国高等学校文化祭は、文化部のインターハイとも呼ばれ、全国各都県からの代表生徒が集まります。秀花新聞は今年で6年連続6回の出場となります。

中山雄斗(石下)



↑総文のマスコットキャラクターの信州なびすけ



↓武田信玄と上杉謙信の一騎打ちの像

川中島古戦場は1969年(昭和44年)NHK大河ドラマ「天と地」放映の前後頃から、一帯が公園化整備された。八幡原史跡公園内には石碑の移設、馬に乗った謙信と見られる武将の剣を信玄が軍配で防いだという甲陽軍艦の記述に基づき銅像が建てられた。

→忍者(手裏剣)
←忍者の衣装のほか、戸隠流の忍術の解説のパネルもある。(六尺棒首抜けの術)



←長野県長野市戸隠にある戸隠民俗館、戸隠忍法資料館、忍者からくり屋敷は、江戸時代の穀倉を復元し、戸隠の伝統的な風土と生活を支えてきた民具など、約2000点を収蔵、展示してある。脱出ゲームの忍者からくり屋敷やアトラクションもあって、小さい子供から大人まで楽しめる場所です。
入館料: 大人600円 小中学生400円
営業時間: 9時～17時



↑戸隠忍法資料館の忍具(鎖帷子と鎖鎌)展示されていた忍者

全国各地の新聞部の中でも中心になるような人が集まり、一緒に新聞を作成でき、良い刺激をもらえた。新聞作成の活動中に、お互いの新聞の作り方も話せたので、今後の秀花新聞の作成に学んだことを活かしていきたい。
↓2年2組 林 楓羽華(阿見)

普段とは全く違う作り方で新聞を作ったので新鮮だった。他の学校の制作した新聞も見ることができたので、秀花新聞に取り入れることのできる点を見つけて取り入れていきたい。
↑2年2組 吉峰 綾香(竹園東)



←「信州そば」は長野県では有名で、よくてんぷらや馬刺しなどと一緒には食べられる。昼夜の寒暖差が大きいほど良質なそばが採れる。その栽培に適した環境から生まれる信州そばは、味、香りともに絶品だ。実際、私達の食べたそばも味も香りも良くとても美味しく食べられた。

↑きのこそば800円

このおもしろい博物館は、地下鉄博物館と目黒寄生虫館を紹介する。地下鉄博物館は地下鉄を専門に展示しているが、上野駅に使用されていた車両などが展示されていたり、鉄道博物館など、鉄道全体が展示されている博物館があるが、地下鉄に焦点をあてたものとなると目黒寄生虫館は世界でも珍しい。寄生虫を専門とした博物館だ。展示スペースは六階建てのビルの一階と二階だけであり、小さな博物館ではあるが、約三百点の液浸標本や関連資料が展示されており、寄生虫関連の珍しいミュージアムグッズなども販売されている。博物館以外にも面白い博物館が日本国内に多く存在する。おもしろい博物館を探してみる。吉峰 綾香(竹園東)

編集者のコラム

十月十八日、一年生がサイエンスツアーで国立科学博物館に行った。この一年生は毎年恒例となっているので、二年生には懐かしさを感じる人も多そうだ。ところで、サイエンスツアー以降博物館に興味を持った人も多そうだ。博物館にはさまざまな博物館がある。日本にはさまざまな博物館に行ってみよう。一般的な博物館と呼ばれる施設の数々、日本国内だけでも五千を超える。それだけ多いと一風変わった施設も多く、博物館の一瞥を見ているだけでも興味深い。変わった博物館の例として地下鉄博物館と目黒寄生虫館を紹介する。

Science Tour

～科学の素晴らしさを知って～

10月18日(木)に、第1学年の3～8組は東京都上野の国立科学博物館にて、サイエンスツアーを行いました。館内を見て回り、それぞれのテーマに沿った展示物や、ボランティアの方々に聞いた内容をレポートにまとめました。国立科学博物館は地球館と日本館に分かれていて、地球館は、多様な生物同士が関わり合って生きる姿や、地球環境の変動による進化の道のりなどがテーマになっています。そして、日本館は、日本の自然の生い立ちや、そこに暮らす生物の進化などがテーマになっています。



国立科学博物館
住所: 東京都台東区上野公園7-20
電話: 03-3822-0111
最寄り駅: 上野駅(JR公園口)から徒歩約5分
開館時間: 9:00～17:00(金・土は20:00まで)
休館日: 月曜日(月が祝日の場合は火曜日)
入館料: 一般620円 高校生以下無料



→牛の胃と腸のレプリカです。牛は植物から栄養を抽出するために4つの胃と、40メートル以上の腸を持っているのです。

↑地球館の1階に展示されているアジアゾウの骨格標本です。戦後、インドのネルー首相から贈られた個体で、「インディア」と呼ばれていました。インディアは平和の象徴として多くの人々に慕われていました。



↑1921年に豊川順彌(よしかわ じゅんや)さんが完成させた日本初の小型乗用車で名前をオートモ号といい、この車は1934年に細部を改造した状態で東京から大阪間の無停止走行に成功しました。日本国内で初めてこのレベルの技術開発を行った豊川さんの偉大さを感じました。

今回の調査から各自プレゼンテーションのテーマを決め、クラス発表に向けて資料を作成します。その後はクラス発表を行ってクラス代表を決め、学年全体の前で発表会を実施します。この先、必要となるプレゼンテーション能力を鍛えることができるため頑張っていきたいです。
栗野 遊馬(下妻東部)

第23期 生徒会発足



第23期生徒会が発足して約3ヶ月が経ちました。今期の生徒会は1年生が多く、最初のうちは仕事に慣れずにぎこちない部分が多かったのですが、時間が経つにつれてチームとしての連携がとれるようになり、今では頼もしい存在になっています。このメンバーで、つば秀英学校を明るく活気のある学校にしたいと思います。1年間よろしくお願ひします。
生徒会副会長 中山 雄斗(石下)

23期生徒会メンバー

年・組	役職	氏名	出身中学
2年2組	会長	林 楓羽華	阿見
2年3組	副会長	中山 雄斗	石下
2年4組	副会長	忍田 悠輔	猿島
1年3組	会計	岡本 郁哉	土浦第二
1年4組	会計	中山 友貴	石下
1年4組	会計	中澤 童記	けやき台
1年3組	書記	山本 有紗	城ノ内
1年5組	書記	坂本 翔太	伊奈
1年6組	幹事	鈴木 菜湖	大塚
1年6組	幹事	島野 まほろ	境第一

生徒会の歴史について調べてみました。第二次世界大戦前は校友会組織「生徒自治会」として自治権を与えられ活動していたそうです。1949年頃に全国で「生徒会」という名称に統一されました。その後は生徒に任せ与えられた責任と権利の中で活動を行っていたそうです。過去に生徒会が政治的活動を行った時期がありました。一旦その政治的活動を禁止されましたが、現在は政治的活動は解禁されているそうです。



生徒会新聞
Vol.15
2018年11月5日
つば秀英高等学校
生徒会発行

生徒会発行
「秀花新聞」
全国高等学校総文祭
新聞の部6年連続出場

新聞記事の
ネタ募集中心!
新聞ボランティア
募集中!

INDEX

- 1面 Science Tour
～科学の素晴らしさ～
・第23期生徒会発足
- 2面 秀英に吹き込む新しい風
・秋の交通安全運動キャンペーン
- 3面 災害時に避難できますか?
防災意識調査アンケート
・初陣から好発進
～県大会突破!陸上部
関東新人大会へ～
・THE・論説 懸賞は儲かるの? 当たる確率は?
4面 Shuei Walker
in 全国総文祭信州総文2018
・編集者のコラム

※記事内の()は(出身中学校)になります。

Shueiに吹きこむ新しい風

来年度から体操服が変わる

4月からスタートした新体育着プロジェクトでは、チームごとに機能や見た目を考えてデザインを決定し、先日プレゼンを行いました。最終的に、全校生徒および先生方の投票によって決定した新体育着は来年度から変更され、つくば秀英25周年の節目に華を添えます。

岡本郁哉(土浦二)



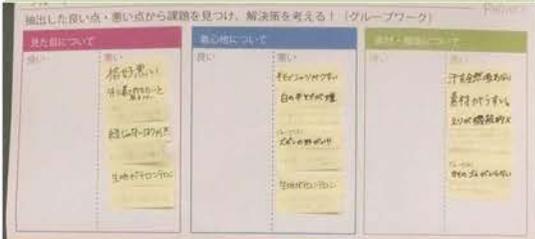
↑②ショールーム訪問

6月には菅公学生服のショールームを訪問させていただき、実際に多くの体育着を参考に話し合いを行いました。



↑③最終デザイン考案

仮デザインを秀輝祭にて展示。そこでの感想や要望を反映させ、最終デザインを決定しました。



↑①体育着の問題点を挙げる

最初に従来の体育着の問題点を挙げ、表にまとめました。そこから改善すべき点をピックアップし、各々体育着の方針を固めます。



←④プレゼン

最終プレゼンでは、決定したデザインをもとに各チームでアピールポイントまとめて、先生方へ発表を行いました。

↓⑤新体育着決定

最終的に決定されたデザインは、シンプルな紺色をベースにし、差し色にスクールカラーである緑色を使った、秀英らしさを取り入れたデザインとなりました。機能面では、透け防止、毛玉防止、速乾性や吸汗性に優れた素材を採用し、さまざまな面に長けた体育着となりました。



デザイン、機能性共にパワーアップした新体育着。来年度から、学校制度、制服と、大きく変わる秀英高校にぴったりな体育着になったのではないのでしょうか。

秋の交通安全運動キャンペーン

9月18日に行われた交通安全運動キャンペーンでは、茨城県出身のタレント、鈴木奈々さんが一日警察署長に就任して、交通安全を人々に呼びかけました。生徒会役員は訪れた人達にポスターや反射板を配りながら交通安全を呼びかけました。中澤竜紀(けやき台) 坂本翔太(伊奈)

9月以降は日が暮れるのが早いので、早めにライトを点灯すること、反射板を付けることを心がけましょう。自動車に乗る人だけでなく、みんなが注意を払うことで、事故を未然に防ぐことができます。みんなで、交通ルールを守りましょう!

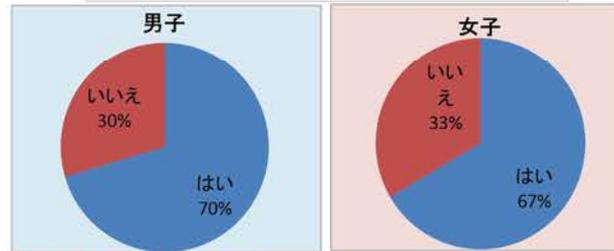


↑一日警察署長に就任した鈴木奈々さんと記念撮影

災害時に避難できますか? 防災意識調査アンケート

平成27年9月9日~11日にかけて起こった関東・東北豪雨による鬼怒川の氾濫を覚えていますか? 当時、約4,300人以上の人たちが孤立し救助される被害にあったそうです。今回、全校生徒に「防災についての意識」のアンケートを実施しました。質問の中で、「自分が住んでいる地域の避難場所を把握していますか?」の結果から考察を行っていきます。

↓自分が住んでいる地域の避難場所を知っていますか? という質問に対する男女別の回答の割合



初陣から好発進 ~県大会突破! 陸上部関東新人大会へ~

茨城県新人大会の結果です。陸上部は9月28日~30日に笠松運動公園で行われた茨城県高等学校新人大会で3種目で関東新人進出を決めました。関東新人大会は10月20日~21日に山梨中銀スタジアム競技場で開催されました。結果は残念ながら予選敗退でした。次の大会も頑張ってください。

左から児矢野佑都(三和北)・小林大智(大穂)・吉田温大(総和)・五頭結紅(桜)・井上颯太(土浦四)



アンケートの結果から、「自分の住んでいる地域の避難場所を知っていますか?」という質問に対して男女共に、「はい」と答えた生徒が約7割いました。しかし、「いいえ」と答えた生徒が3割いて、避難場所を知らない人も少なくありません。

これからは、より多くの生徒に、災害は危ないだけでなく、なぜ危ないのかということを知ってもらう、防災について考え、災害に備えるということが課題であると考えました。

みなさんは、つくば市公式ウェブサイトで、「ハザードマップ」が無料でダウンロードできることを知っていますか? 土砂災害警戒区域や避難所が一目で分かるようになっています。ぜひダウンロードして、自分の住まいが安全な場所にあるか、近くの避難所はどこにあるかを確認しましょう。

災害はいつ起こるか分かりません。普段からの備えが大切です。

島野まほろ(境一)

関東新人大会を終えた陸上部のみなさんに、次の大会への意気込みを聞きました。

▽児矢野: 次の大会はインターハイに繋がる一番大事な大会。この大会で物怖じしない実力を冬期練習でつけたいです。

▽小林: 次の大会では4x100mリレーはもちろん、個人でもしっかりと良い記録を出すために、自分の足りない部分をしっかりと練習で埋めていきたいです。

▽吉田: 冬期練習を頑張りと、日本一になりたいです。

▽五頭: 来年には関東大会で入賞できるように冬期練習を頑張っていきたいです。

▽井上: ベストを出せるように頑張りたいです。

THE・論説 懸賞は儲かるの? 当たる確率は?

懸賞王! 当選!

世の中にはたくさんの懸賞企画があります。企業のプレゼントキャンペーンからネット懸賞、懸賞雑誌など、数えればきりがありません。誰でも一度くらいは懸賞企画に応募した事があると思いますが、懸賞は儲かっているのか、当選確率はどのくらいなのか、疑問に思った事はありませんか? そこで今回は、懸賞の事について調べてみました。

企業のプレゼントキャンペーンの懸賞の当選確率は、プレゼントされる商品の人気や個数、更にはキャンペーンの認知度によって大きく変わります。調べてみたところ、0.002%程度の当選確率のものから、高いものでは9%以上の当選確率を誇る企画までありましたが、当選確率にはさほど関係がないと思われます。

当選確率は、当たるプレゼント内容が豪華であればあるほど低くなると考えられるが、キャンペーン自体の知名度も当選確率と密接な関係にあるようです。例えば、有名企業のプレゼントキャンペーンに比べ、あまり知名度のない企業のキャンペーンの方が、当選商品や当選人数に関係なく当選確率は高い傾向にあります。

吉峰綾香(竹園東)

ネット懸賞は、消費者が儲かるのか? その商品自体を購入しない限り消費者が儲かるようになっていきます。もし、商品が当たらなくても、応募するだけでポイントがもらえるサイトもあるからです。消費者は懸賞に当選すれば商品とポイントの両方を手に入れる事が出来ます。

では企業側は儲からないのか? 「損して得取れ」という言葉を皆さんはご存知でしょうか? 損して得取れとは、「一時的には損をしても、将来的に大きな利益になって返ってくるように考えよ」ということです。

この言葉のように最初に商品を懸賞としてプレゼントして、クチコミなどで、良いことが広がれば、どこかで購入する人が増えてくると思います。そうすれば商品の売上げが上がるので、最初は損をしていたが、後には大きな利益に繋がっていくのです。懸賞こそ「損して得取れ」の精神だったのです。

高島加恋(千代川)